

第4回教育委員会定例会議事要録

詳細—教育部庶務課 電話03-3981-1141

附属機関又は 会議体の名称		教育委員会第4回定例会
事務局（担当課）		教育部庶務課
開催日時		令和4年4月12日(火) 午前10時
開催場所		教育委員会室
出席者	委員	金子 智雄（教育長）、 樋口 郁代（教育長職務代理者）、酒井 朗、村瀬 愛、大澤 誠
	その他	教育部長、庶務課長、教育施策推進担当課長、学務課長、放課後対策課長、学校施設課長、指導課長、教育センター所長
	事務局	庶務課庶務グループ
公開の可否		一部公開 傍聴人 2人
非公開・一部公開の場合は、その理由		報告事項第9号～第11号は、人事案件のため非公開とする。
会議次第		<p>第13号議案 コミュニティ・スクール学校運営協議会委員の任命及び解任について（教育施策推進担当課長）</p> <p>協議事項第1号 令和4年度 移動教室・修学旅行の実施（案）について（学務課）</p> <p>報告事項第1号 豊島区教育委員会研究開発指定校等について（指導課）</p> <p>報告事項第2号 令和4年度 区立幼稚園 小・中学校行事一覧について（指導課）</p> <p>報告事項第3号 令和4年度豊島区幼稚園、小・中学校 「教育の特色」一覧（指導課）</p> <p>報告事項第4号 令和4年度「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」について（指導課）</p> <p>報告事項第5号 新型コロナウイルス感染症の発生状況について（学務課）</p> <p>報告事項第6号 令和3年度教育委員会後援名義使用の承認状況（第4四半期）（庶務課）</p> <p>報告事項第7号 教育委員会事務局の組織及び分掌事務について（庶務課）</p> <p>報告事項第8号 「旧平和小学校複合施設整備基本計画」の策定について（学校施設課）</p> <p>報告事項第9号 主幹教諭の配置について（指導課）</p> <p>報告事項第10号 指導教諭の配置について（指導課）</p> <p>報告事項第11号 令和4年度「豊島区立学校の管理運営規則」第9条に定める主任及び主任の校務を担当する主幹教諭一覧（指導課）</p>

金子教育長)

それでは、第4回の教育委員会定例会を始めさせていただきます。

本日の議事録署名委員ですが、樋口委員と酒井委員お願いいたします。

本日は、傍聴の申込みが2名ということですが、認めて、宜しいでしょうか。

(委員全員了承)

金子教育長)

それでは、了承いたします。

それでは、傍聴の方、お入りください。

<傍聴者入場>

(1) 協議事項第1号 令和4年度移動教室・修学旅行の実施(案)について

金子教育長)

それでは、早速議題に入ってまいりたいと思います。

まず、協議事項の第1号から参ります。令和4年度の移動教室・修学旅行の実施(案)につきまして、ご説明をお願いします。

学務課長。

<学務課長 資料説明>

金子教育長)

説明終わりました。こちらの案件につきまして、ご意見いただきたいと思います。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

村瀬委員。どうぞ。

村瀬委員)

去年は西側に固まっていたので、今回はいろいろなところが出ているなと思います。なるべく行けるような方法を探していただくという方向性だと思うので、是非行ってほしいなと思います。

金子教育長)

他ございますか。

どうぞ、酒井委員。

酒井委員)

今年度はこういう形でいろいろ配慮していただきながら実施していただけるのは大変ありがたいと思います。児童・生徒も非常に喜び、大変楽しみではあるので、是非このような形でやっていただきたいです。一方で、今回の話ということではなくて少し大きな話として、特別活動でこういう移動旅行の意義というのがどういうものなのか。例えば、中学生は毎年、何らかの移動教室や修学旅行に行くということになっていますが、そこまでの意義は何かと。中学校の場合には、特別活動、移動の場合には、自然とか、様々なバリエーションが用意されていて、林間学校などが企画されるところも多いですが、どうして、

こういう都市部のところだけなのかとか、少し分からないところがございます。豊島区として特別活動、宿泊を伴う行事の考え方を教えていただきたいです。

金子教育長)

学務課長。

学務課長)

まさに、今コロナ禍で、振り返れば令和2年度は、多くの授業がコロナで中止を余儀なくされました。従前しっかりした目的を持った宿泊行事が組まれていたと認識をさせていただきます。一方で、そういった制約がある中で宿泊行事を、令和3年度は、まず教育的意義はもちろん、あと学習効果というところにも重点を置きながら、何とか1泊で宿泊出来ないかと考えているところだったと思います。

まさに、酒井委員おっしゃるところは、私個人としては、令和5年度について同時並行でどうやっていくのかということ、春先から検討したいと思っています。その中で、果たして、次コロナが一定程度収束した先を見据えて、今酒井委員がおっしゃったような、中学校で言えば各学年でどういった位置付けなのかを考えていきたい。従前はスキー教室をやっていました。

豊島区として、どういう整理の仕方をして、そういったものやっていくのかということは、今コロナの状況ですが、その先を見据えた検討というのもしっかりとやっていきたいと考えてございます。そのときは、いろいろな助言も賜ればと思っています。

酒井委員)

先々のこととして、検討していただければと思いますので、宜しくお願いいたします。

金子教育長)

宜しいですか。少し先で宜しいということ。

酒井委員)

もちろん、かなり計画も立っていますので、今年はこれで。

金子教育長)

そうですね。直近は学務課長が申し上げたように、やっぱり保護者の方も含めてだと思えますが、子供の体験不足が非常に、大きく、心理面も含めて、心の育ちが重要かなと思います。行くということには、圧倒的な賛成がありますが、いろいろ気を付けながら行くにしても本当に行くべきところに行っているのかということをもう一度見つめなおさないといけないと思います。

酒井委員)

そういうことです。

金子教育長)

結果的には、小学生の方が自然系に行っていて、中学生になると都市系、社会学系に行っているなというのは確かにございます。

酒井委員)

そうですね。

金子教育長)

それがそれで良いのかということのご提起と受け止めさせていただきます。

他にございますか。

どうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

今の酒井委員のお話で、今までは1年生はスキー教室に行っていました。スキーを体験したことがない子が結構たくさんいて、6年生ぐらいのときから中学に行ったらスキーだと、わくわくしながらスキーを体験し、2年生になると、尾瀬をひたすら歩かされる。尾瀬はどこにも逃げ場がなくて、歩けなくなったら誰かが背負うしか方法がないような状況、またはヘリに頼るしかないくらいの状況で、結構ぎりぎりな状態で歩くという状況で、あまりに教員の負担が多いのではないかということで、尾瀬ではなく、農家などで収穫や、そういうのを手伝うお仕事、そういう体験をさせてあげようではないかという雰囲気になっているときにコロナがきました。

それで、自然体験、スキーもなくなり、港シリーズになりました。

酒井委員)

そうですね。

村瀬委員)

距離が近いので、コロナになってもすぐに助けに行けるからということ。ずっとこれが続くわけではないとは思っています。子供たちを見ていると、スキーや、尾瀬は尾瀬で楽しんできていたので、体験型良いなと思っています。

金子教育長)

学務課長。

学務課長)

今年度の計画につきましては、先程説明させていただいた通りです。この間、学校と様々協議する中では、今、村瀬委員がおっしゃったようなスキー教室は子供たちの達成感につながります。また、2日間宿泊行事で過ごすことが非常に有意義だということは、実は今年度やるに当たっても強く強く要請されてきたところではあります。しかし、教育委員会として、スキー教室については感染対策の面で、少しどうなのかなということで、1年間検討させていただいてということで、まとまっているというもののご理解いただければと思います。

金子教育長)

そうですね。学校サイドとはスキー教室についての可否検討をずっとやっております。すごく熱意があるということです。我々も行かせたいと考えていますが、資料の2感染症対策の基本方針の5条件があります。これを我々としては大事にしてきました。これは、東京都ではなくて、豊島区として考えたオリジナルです。これを大事にしながら、クラス

ターを発生させないで何とか出来ているという状況もありますので、守っていこうと思っており、なかなか、これにかなう形での実施がスキー教室では難しいという状況がありますので、それがかなうようになれば、あるいは一方で感染状況が変わるのであればということです。

金子教育長)

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

ここ2年間のコロナ禍の中でも豊島区はこうして宿泊を伴う行事を工夫してやってきたという実績があります。本当にありがとうございます。それぞれ大変な思いをしながら工夫をしてくださったと思います。それを踏まえて、ご検討いただいたということで、賛成です。

とりわけ関西の方に行く学校が増えましたが、中3についても、2泊で私もいいと思います。出来ると思います。食事の場所は1か所にしないなど、様々な工夫がありますので、そこは学校が、これまでやってきたところを上手くやっていただければと思います。

なお、移動教室等の宿泊を伴う行事の在り方検討委員会が、常に何年かに1回は開催されています。そこで全学年行くのか、どういうステップをするのかなど、きっとまた落ち着いたらなさると思います。

ちなみに尾瀬は豊島区の伝統で、私も行きました。

金子教育長)

では、計画については、基本にご賛同いただけるということで宜しいでしょうか。

協議としては了解ということにさせていただきたいと思います。今後も変化がありましたら、その都度、ご報告させていただきます。

(委員全員異議なし 協議事項第1号了承)

(2) 報告事項第1号 豊島区教育委員会研究開発指定校等について

金子教育長)

続きまして、報告事項に参ります。第1号、豊島区教育委員会の研究開発指定校等について、ご説明をお願いいたします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

樋口委員。どうぞ。

樋口委員)

今年度から始まる研究開発校ですが、この間の図書館との連携の話を受けて、早速に連携をしていただいたと感じました。大変ありがたいことだと思っています。中身を期待し

たいと思います。

1点教えてください。CBTのフルネームをもう一回お願いします。

金子教育長)

指導課長。

指導課長)

コンピュータ・ベースト・テストです。

樋口委員)

これは、私が不勉強なのですが、最近流行っているのですか。

指導課長)

CBTに関しましては、例えば入試など、今後いろいろなことを、コンピューターをベースにやっていくという流れがあります。今回の場合は、テストというよりチェックテスト、振り返りテストという形です。豊島区内にある会社と協力をして、素材を入れていただいでやっていこうと思っております。

樋口委員)

その会社というのは既に豊島区で入っているところですか。

金子教育長)

指導課長。

指導課長)

昨年度からモニターということで、計算、漢字の実力テストを行っています。学年によらず、6年生であれば、2年生から5年生ぐらいの計算テスト、それから漢字テストを100問、全て4択の問題で、どこにつまずきがあるかが分かるような教材を入れてもらっていました。

今回はそういう大きな単元ではなく、前時に学習したことをチェックが出来て、4択ですが、その中でどういう間違いがあるのか、どういう傾向があるのかということを即時に、先生たちが見ながら、授業に繋げていくということを計画しております。学校の意見を入れながら開発を進めてもらう予定です。

樋口委員)

ありがとうございます。

金子教育長)

宜しいですか。

樋口委員)

はい、分かりました。

金子教育長)

国が共通のテストにCBTを入れようとしている動きがある一方で、本区としては、こういう形もやっているという新しい取組でもあります、出来ればこの二つの中学校がどのように研究開発をしているかということ、途中でも、あるいは別でも結構ですので、論理

的には分かるのですが、イメージが湧いておらず、ぜひ知りたいと思うので、機会があれば教えていただければと思います。宜しくお願いします。

他にございますか。宜しいでしょうか。

いろいろと取り組んできていただいたので、研究開発に関して、特に地域連携のあたりに積極的に学校から手が挙がるようになっていくという報告を聞いています。とても良いことだと思っています。今後もどうぞ宜しくお願いいたしたいと思っています。

宜しいでしょうか。それでは報告は了解いたしました。

(委員全員異議なし 報告事項第1号了承)

(3) 報告事項第2号 令和4年度区立幼稚園、小・中学校行事一覧について

金子教育長)

それでは、次に、報告事項第2号です。令和4年度区立幼稚園、小・中学校行事一覧につきまして、ご説明をお願いします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございますか。

宜しいですか。こちらからもまた具体的なところで、この辺りどうですかということがあれば、お声がけをしたいと思います。是非、子供たちの、現場の様子を感染に注意しながらですが、見ていただければと思います。宜しくお願いします。

村瀬委員。どうぞ。

村瀬委員)

去年は運動会を、学校によっては午前中で終わらせるなど、保護者についても制限をしていました。

金子教育長)

そうですね。制限がありました。

村瀬委員)

モニターで見てくださいますなど様々ありましたが、今回も、教育委員会からはいろいろ言わず、校長先生たちが独自の対策をしてくださる進め方になりますか。

金子教育長)

運動会についてということでもよろしいですか。いかがですか。

指導課長。

指導課長)

現在のところ、実施という形で学校には言っております。ただし、このコロナがどうなるかということが分かりかねますので、感染対策を必ずやること、もし本当にひどくなったときは中止や、段階によって対策を変えていく、開催するための工夫をするというところでお願いしています。また近くなってきたらと思います。

金子教育長)

宜しいですか。

村瀬委員)

コロナに対して、学校側もすごく上手に対策が出来るようになってきています。去年も何校かの運動会を見ましたが、上手に保護者の流れを作っていました。

今年も上手に工夫をして開催してくれたらと思います。

金子教育長)

とにかく密を避けるということで、学年指定という流れと、それからオンラインを使った流れがあるみたいです。宜しいでしょうか。

それでは、これについては了解とさせていただきます。またご案内してまいりたいと思います。

(委員全員異議なし 報告事項第2号了承)

(4) 報告事項第3号 令和4年度豊島区幼稚園・小・中学校「教育の特色」一覧について

金子教育長)

続きまして、報告事項第3号に参ります。報告事項第3号、令和4年度豊島区幼稚園・小・中学校「教育の特色」一覧につきまして、ご説明をお願いします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご覧の通りということですが、いかがでしょうか。ご質問、ご意見ございましたらお願いします。

樋口委員。どうぞ。

樋口委員)

今年の特徴的なところはありますか。

金子教育長)

指導課長。

指導課長)

昨年度からSDGsを区として、教育部全体としてやっていただいていますので、SDGsということは、もう当たり前、普通の活動になりました。そこから、地域ということ意識する学校が増えたというところが、今年度の特徴でございます。地味ですが、それぞれ地域を考えた上で発信をするという流れが出来ているかなと思っております。

金子教育長)

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

地道なというのが大事なことだと思います。当たり前のことを当たり前としてやってい

く、それが力になりますから。アドバルーンを上げる必要性は、私はあまり感じていません。おっしゃる通りだと思います。

もう一点は、こういう特色を年度当初に掲げ、1年間取り組んできたとして、では、その成果について、何か事例があったら教えてください。

金子教育長)

指導課長。

指導課長)

まずはやってきたことに関して、学運協できちんと説明出来ることが大切だと思っております。もちろん、保護者もですが。その上で学校評価につきましても、昨年度まででガイドラインが完成し、PDCAは回り始めているところです。そこに乗せていきたいと思っております。学校評価については、年に1回、もしくは2回まとめて取るので、なかなかこれが取りきれない。この特色を評価出来るような評価の仕方というところも、今年度、副校長、教務主任にも研修をしていくところでございます。

金子教育長)

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

ここ二、三年の間に学校評価の在り方を見直していただいて、実を取れるような評価の在り方を考えていただき、それが身になりつつあるなど私も感じているところでございます。

このたびの教育課程についてのヒアリングも、指導課の皆さんが大変工夫をしていたと私はお聞きしました。大変ありがたいことで、学校も実際何をどのようにやっていくかということ、振り返る、そして作り上げる、そういう機会になったヒアリングだったのかと期待をしているところです。是非、今年度、まだまだコロナ禍ではありますが、出来ることを地道にやっていく学校教育を進めていただけたらありがたいと思っております。

金子教育長)

ありがとうございます。他にございますか。

どうぞ、酒井委員。

酒井委員)

南池袋小にリーダー・イン・ミーとありますが、その言葉を教えていただけますか。

統括指導主事)

リーダー・イン・ミーはフランクリン・コヴィー・ジャパンの考え方を基にした七つの習慣を学校教育でも使っていこうということで、南池袋小では特別活動を中心に進めております。まずは自分自身がリーダーであること、自分にスポットを当てられるようになることということで、第1の習慣から第7の習慣について期間を決めて、今月は第1の習慣について気を付けてやろうねと、子供たちに意欲といいますか、自己肯定感を高めるような教育を進めていく考えであります。これが今3年目になりました。

酒井委員)

ありがとうございます。

金子教育長)

宜しいですか。

酒井委員)

はい。

金子教育長)

宜しいでしょうか。それでは了解させていただきます。

(委員全員異議なし 報告事項第3号了承)

(5) 報告事項第4号 令和4年度「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」について

それでは続いて、報告事項第4号、令和4年度「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」につきまして、ご説明をお願いします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

国の方も流れがあって、昨年とまた違うアプローチになっているようです。本区の算数、数学について、全校でやったという点は、23区でもあまりないかなと思います。今回、英語はまず押しなべてやれるということなので、まずそれをやった上でプラスアルファというお話だったかと思います。このような流れですが、何かご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

どうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

すごく分かりやすいなと思いました。今年は英語ということですが、去年は数学が全員ではなかったため、豊島区で予算を付けてということですが、何かせつかくやる気がある小学校、中学校が外れてというのは残念です。他の学校が与えられているチャンスが与えられないということもあるので、許すのであれば、予算を付けてやりたい教科をやらせてあげたいという気持ちがありますが、それは難しいのでしょうか。

金子教育長)

指導課長。

指導課長)

予算の面は、分かりかねますが、今年度は英語を研究したいと考えています。英語の使い道は教員がデジタル指導書を既に使っておりますので、子供と合わせて、研究したいですという学校がこの中にもあります。どちらかという2教科目を希望しなくていいですかと言ってきた学校もあるので、学校の実力や、やりたいこと、あと他の研究もやらなければいけないので、2教科目を辞退したいという学校も実はありました。したがって、納

得の上でのこの状況でございます。まず英語を豊島区としてもやりたいと思っております。
金子教育長)

ということですが。算数をやったり理科をやったりすると幾らかかるという点は、今日は誰も分からないですね。それは確認しておきましょう。

どうぞ、教育部長。

教育部長)

このデジタル教科書は国の実証実験でありまして、本当に効果があるのかということを検証している状況です。昨年は算数と数学、今年は、国の方が英語を主体に検証しようと、英語が主目的です。プラスアルファ他の科目も、手挙げ方式でやってまいりますが、手が挙がってきている学校が資料に記載の学校です。特に2科目をやりたいという学校、全部の学校がやりたいということではなくて、希望制で上がってきていますので、余力がある学校ということですよ。やってみたいということでは上がってきているものですから、予算をとって公平に2科目をやらせるという趣旨ではありません。英語が主目的、英語を検証してくれということで文科省の方から下りてきています。国の予算で行うものですので、特段学校の方から予算を付けて、デジタル教科書、2教科目を入れてくださいという要望はありません。我々もそこまで求めてないという方針であります。

以上です。

金子教育長)

樋口委員、どうぞ。

樋口委員)

どのようなものか見たことがないので、昔のものはあるのですが。最近のデジタル教科書、単なる教科書をコピーしたような感じではないですね。その辺どうですか。

金子教育長)

指導課長。

指導課長)

デジタル教科書は基本教科書のデジタル版なので、樋口委員が言われている通りです。ただし音声が出るということ、あと色の反転や、拡大などの配慮があります。英語は音が出るということが、とてもアドバンテージがあるところです。もう一つは、デジタル教科書だけではなくて、教材も、今回付いてきます。そのところを上手く使っていきたいと思います。

金子教育長)

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

本来デジタル教科書が何故導入されたかということからすると、いわゆる障害のあるお子さんにも教科書が分かりやすく、視覚的に、その障害の場合によりませんが、分かりやすくあるようにというところが大きな要因の一つだったはずですよ。そのため、この

デジタル教科書の使い方を考えていく、そういう検証の事業だと私は捉えています。

例えば、光村図書のデジタル教科書を見ると、必要なところに飛べたり、様々な資料が入ったりなど、使い道がすごく広い。特に英語の場合は、どのように活用出来るのかということが研究としても出来るだろうと思いました。

それから2点目は、先程、中学校の研究開発校がこれで2校になったわけです。ずっと課題だったところにメスを入れてくださったということだと私は解釈をしています。こちらでは、デジタル教科書とはいいませんが、そことの関連でICTを事業の中でどのように活用していくのかということにも視点の一つが出来るのではないかと考えて聞かせていただいた次第です。

それから、3点目ですが、昨年度は算数、数学でデジタル教科書を使っているのであれば学校にあるということ。したがって必要なときに、今回手を挙げてなくても活用は出来ないのでしょうか。

金子教育長)

指導課長、どうですか。

指導課長)

文科省からいただいたものは1年のライセンスです。

樋口委員)

はい、分かりました。それに伴って3点目の続きです。そうすると、映すための大きなモニターが必要ですね。したがって、大型テレビが学年に1台しかないなんてあり得ないのではないですか。国がこのように言っているのですから、そこで推していくしかないかと感じた次第でございます。

以上です。

金子教育長)

どうぞ、酒井委員。

酒井委員)

最後に樋口委員がおっしゃったこと、私もそのように思っています。区長に要望していると思いますが、大型提示装置がないと、使い勝手が非常に悪いので、是非、各学校にそろえていただかないと。ある程度、最新のものを入れていかないとクリアに映らないので、そこがとても大事だというのが1点です。

それから、私もデジタル教科書をどうやって授業で使うのかということが全然よく分からないところがあります。例えば土曜日の授業公開で、もしそういう授業をされる学校、学級がありましたら是非教えていただきたいというのが2点目です。宜しく願いいたします。

金子教育長)

ご要望がありましたので検討してみてください。

指導課長)

はい。

金子教育長)

大型提示装置については、何かいいですか。

どうぞ、庶務課長。

庶務課長)

大型テレビにつきましては、ちょうど今、全校を回りまして、学校の全テレビの状態チェックしようということをしております。その結果を踏まえまして、購入に向けて、区長部局と交渉していきたいと考えております。

酒井委員)

宜しく願いいたします。

金子教育長)

議会でも話がありました。何とかしなければならないという認識は、もう既に持っております。

酒井委員)

そうですか。

金子教育長)

問題は交渉するのに、実態も分かっていないのでは交渉しようがないので、頑張ってもらっているところです。来年ということではなくて、今年度の途中ででもお願いしたいということで動いていこうと思っておりますので、宜しく願いいたします。

他にございますか。

そうですね。デジタル教科書、まだ始まったばかりのところがありまして、会社の方も開発途上であったりします。令和3年度はどうだったかという内容を簡単に書いてもらったところ、やはり少し課題があるのかなと思います。思ったようにハイパーリンクで飛んでいけないということや、これだと、紙とあまり変わらないねということなど。一方で、樋口委員がおっしゃったように、拡大出来たり、読み上げが付いたりということであれば、当然、そういうところには使えるということですので、様々な使い勝手、効果を、もう一回整理しながら見ていく必要があるのかなと思いました。いろいろご意見ありがとうございます。今後も、私もきちんと見たことがあるわけではないので、偉そうなことは言えませんが、計画したいと思います。どうぞ宜しく願いいたします。

(委員全員異議なし 報告事項第4号了承)

(6) 第13号議案 コミュニティ・スクール学校運営協議会委員の任命及び解任について

金子教育長)

続きまして、第13号議案、コミュニティ・スクール学校運営協議会委員の任命及び解任について、宜しく申し上げます。

<教育施策推進担当課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

仰高小学校の新しい委員の方で、副会長が全員入っています。他の学校としつらえが違うので意図があるのであれば教えてください。

金子教育長)

いかがでしょう。

教育施策推進担当課長。

教育施策推進担当課長)

昨年度、学校運営連絡協議会からコミュニティ・スクール準備校という形でやらせていただいている中で、委員の皆様引き続きやっています。仰高小学校は、PTAとの繋がりで様々なことをやっていますので、このような形態になっているのではないかと考えております。

金子教育長)

樋口委員。どうぞ。

樋口委員)

良いとか悪いとかの問題ではなく、学校がこういう趣旨で委員を選んでいますということを明確にすることが大事だと思っています。いわゆる、これまでのコミュニティ・スクールの前身とそんなに変わらないから、本当に考えてくださっているはずなので、そこを大事にしていただきたいと思います。

金子教育長)

教育施策推進担当課長。

教育施策推進担当課長)

仰高小学校は、特にSDGsの取組やビオトープの管理について、学校長がこういうことがやりたいと考えているビジョンに応じて、一緒にお手伝いをいただいているところが大きいと思います。校長と同じ方向を向いていただいている方を、今回選んでいると認識してございます。今後コミュニティ・スクール、学校運営連絡協議会から少しずつですが、時間をかけながら変えていくにあたっては、委員の委嘱理由に関して、学校長ともヒアリングをしながらやっていきたいと思っています。

金子教育長)

ご指摘ありがとうございます。そういう目で見ると、これで3校目になりますが、参考資料の方で横並びに見ると、仰高小は町会長が入っていない。池袋本町は町会長を大事にしている。学校によって明らかな違いが確かにあって、学校を思い浮かべると分かる気がします。非常に地域の特徴が出ているような気がします。いかがですか、村瀬委員。

村瀬委員)

そうですね。ビオトープをすごく手伝っている方が入っています。地元の元会長の商店街理事も入っていらっしゃると思います。実際、町会長ではありませんが、それと同じくらい地域に根差している方が入っていらっしゃると思います。また、副会長が入っている点は、今の現PTAと一緒に何かをやっていく推進力になるのかなとは思っています。学校のコミュニティ・スクールが学校と上手く絡んで良い方向に行くことが望ましいと思います。どのようになっていくのかという点は、この名前からは分からないので、今後どのような状況かということをお教えいただければ嬉しいです。

金子教育長)

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

おっしゃる通りだと思います。人の名前だけではなくて、こういうことに力を入れたいから、こういう人たちを入れましたというところをみんなが共通理解できればいいだけの話です。私は町会長が入っていないから駄目とは、全く思っていません。例えば、仰高小では学識経験者を入れています。大所高所から考えているということがよく分かります。そういう人は必ず一人は必要だと思います。その学校のコミュニティ・スクールで何をやりたいのかということをおま折を見て教えていただければと思います。

金子教育長)

宜しいでしょうか。

それでは、本件につきましては、議案ですのでこれを可決したいと思います。宜しくお願いいたします。

(委員全員異議なし 第13号議案了承)

(7) 報告事項第5号 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

金子教育長)

続きまして、報告事項の第5号に参ります。新型コロナウイルス感染症の発生状況につきまして、ご説明をお願いいたします。

学務課長。

<学務課長 資料説明>

金子教育長)

状況説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

春休みの間、大変気を遣いながら子どもスキップを運営して下さったのではないかと思います。本当にありがとうございます。

新年度に入り、新1年生がどっといらっしゃって、今一番1年の中でも気を遣われる時期ではないかと拝察をしております。職員の皆さん、一生懸命やったださっていることを存じ上げております。どうぞ今年度も宜しくお願いしたいと存じます。

金子教育長)

はい、一言。

どうぞ、放課後対策課長。

放課後対策課長)

新1年生は3月31日までは保育園児でございます。4月4日に新しい所長のところを何か所か回りましたが、ちょうど新1年生が勉強の時間ということで、観察しました。どのような様子かといいますと、すごく勉強に集中して、座っており、びっくりいたしました。後で、職員に聞いたら、緊張しているからですと、これから慣れてくると落ち着きがなくなるといっておりました。

新1年生も学校生活を楽しみにしているという意味では、とにかく入学式にけがをさせない、それからコロナに感染させないということが大切です。学校、職員も非常に気を遣ったと思います。これからはコロナ対策を含めて生活が充実するように、放課後を充実させていきます。

金子教育長)

他にございますか。宜しいですか。

直近の感染者数の上がり具合が気になります。お花見に行くなど、若い方を中心に飲み会が復活しているようで、全体の数が下がりません。むしろ上がりつつあるという点が心配です。豊島区も300人という数字に戻ってきましたので、感染者が出ている学校の状況を見た私の印象ですが、まるで初期の頃に戻ったような印象があります。そのまま、また繰り返すのはたまらないなと思っています。そうならないように願うばかりですが、こればかりは、大人の方々の行動如何としか思えません。

経済も回さなければならないと思いますが、もう一回同じような流れになって、また、「まん防」のような事態になることを、非常に懸念しているところです。やることをきちんとやっていかなければなりません。教員の方にも気を付けていただいくしかないと思っています。また、状況を報告してまいりますので、宜しくお願いいたします。

(委員全員異議なし 報告事項第5号了承)

(8) 報告事項第6号 令和3年度教育委員会後援名義使用の承認状況(第4四半期)について

金子教育長)

続きまして、報告事項の第6号、令和3年度教育委員会後援名義の承認状況につきまして、お願いします。

庶務課長。

<庶務課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

宜しいですか。では、了解させていただきます。

(委員全員異議なし 報告事項第6号了承)

(9) 報告事項第7号 教育委員会事務局の組織及び分掌事務について

金子教育長)

続きまして、報告事項第7号、教育委員会事務局の組織及び分掌事務について、ご説明
お願いいたします。

庶務課長。

<庶務課長 資料説明>

金子教育長)

説明終わりました。こちらにつきまして、ご質問、ご意見ございましたらお願いいたし
ます。

教育施策推進担当課長。

教育施策推進担当課長)

若干補足をさせていただきます。

SDGs推進グループは特出したということで、昨年度から引き続きSDGsに取り組
んでいくということですが、幼児教育推進グループにつきましては、就学前教育と特別支
援教育、保幼小連携を強化したいということで新たに設けております。3年任期付の一般
職員の公募を行い、3月まで仰高小学校の校長先生だった新井先生をお迎えしております。
教育委員会事務局に席はありますが、基本的には池袋幼稚園で勤務しています。池袋幼稚
園には専任の園長がおりませんので、池袋小学校長が職務代理となり、新井先生には園務
の補助もしていただきながら、池袋小学校ブロックを中心に保幼小連携や就学前教育の研
究、実践を行っていただき、保幼小連携推進プログラムを作り、認定こども園化の運営体
制や運営方法を具体的に検討していきます。

以上でございます。

金子教育長)

追加の説明を含めまして、ご質問、ご意見ございましたらお願いします。

宜しいでしょうか。またやっていく中で疑問点がありましたらご質問いただければと思
います。

(委員全員異議なし 報告事項第7号了承)

金子教育長)

5分休憩をいれます。

(11時15分 休憩)

(11時20分 再開)

金子教育長)

それでは、再開させていただきます。休憩前に続きまして、教育委員会を開きます。

(10) 報告事項第8号 「旧平和小学校複合施設整備基本計画」の策定について

金子教育長)

それでは、報告事項第8号、「旧平和小学校複合施設整備基本計画」の策定につきまして、ご説明お願いいたします。

学校施設課長。

<学校施設課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

愛称は5月に決定しますか。

学校施設課長。

学校施設課長)

愛称の公募につきましては、旧平和小学校を利用する想定周辺の小学校、中学校のお子さんに向けて、ご案内を差し上げたところでございます。現在、何点かご応募いただいております。下旬には、千川中を考える会の皆様、地域の方々等のご意見を踏まえながら、区の方で決定しまして、5月に公表を差し上げたいと考えているところでございます。

金子教育長)

はい、分かりました。

どうでしょう、宜しいですか。ご質問、ご意見ございましたら。計画案の段階で、一度はご説明をしています。ご意見もいただいたということになっております。とにかくこれが出来ないことには千川中は立て替えられないということですが、いかがですか。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

パブリックコメントに一つ一つ丁寧に回答いただき、区民の皆様も安心されたと思います。ありがとうございます。どうぞ宜しくお願いいたします。

金子教育長)

宜しいですか。ありがとうございました。

(委員全員異議なし 報告事項第8号了承)

金子教育長)

それでは、公開案件については以上でございます。どうもありがとうございました。

これ以降は人事案件ということで、非公開とさせていただきます。

<傍聴者退場>

(11) 報告事項第9号 主幹教諭の配置について

金子教育長)

では教員の人事でございますので、報告という形になります。

まず、報告事項第9号、主幹教諭の配置につきまして、ご報告をお願いいたします。

指導課長。

人事案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項第9号了承)

(12) 報告事項第10号 指導教諭の配置について

金子教育長)

続きまして、第10号です。同じくご説明をお願いします。

指導課長。

人事案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項第10号了承)

(13) 報告事項第11号 令和4年度「豊島区立学校の管理運営規則」第9条に定める主任及び主任の校務を担当する主幹教諭一覧

金子教育長)

最後に、報告事項第11号、ご説明をお願いします。

指導課長。

人事案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項第11号了承)

金子教育長)

では以上でございますが、よろしいですか。

では、また本年度も宜しく願いいたします。第4回教育委員会定例会、閉めさせていただきます。ありがとうございました。

(午前12時10分 閉会)